

城北防災だより

2024/7/22
72号
城北地区防災対策協議会
事務局：城北地区公民館

『一時集合場所 集合訓練』(8月25日【日】8:00)！！

「一時集合場所集合訓練」を、“8月25日【日】8:00”本年度も実施します。
詳細は、『自主防災会長会及び役員会』で確認します。(令和6年7月5日付け「案内」配布済み)

◎自主防災会長会及び役員会

■日 時：令和6年7月25日(木) 19時00分～
■会 場：城北地区公民館 研修室1・2

この『声かけ行動』(安否確認・情報共有)の導入は、全国各地で進められてきています。城北地区でも、“助け合いの仕組み”として、6年前から訓練を実施してきました。住民同士が災害時に情報共有を行い、互いに支え合う「安全なまちづくり」を目指す取り組みの1つです。

災害発生時
・救助活動
・安否確認

◎災害時における情報収集：鳥取市が防災行政無線を使ってサイレンや音声によって災害リスク・避難情報を知らせます。テレビ・ラジオ・パソコン・スマホからも情報収集できます。

いつもしゅうごう ひなん
一時集合避難

町内の安全な道路上・公園・空地などの「一時集合場所」に声をかけあつて隣・近所ごとに集合し「安否・動静」を確認する。

避難所開設情報(市職員配置)の確認

「一番安全な場所」へ避難

- * 自宅垂直避難
- * 分散避難(自家用車)：鳥取砂丘駐車場等 親類縁者の家・ホテル・商業施設 等
- * 避難場所：城北小学校 等
- * 避難所：中ノ郷体育館・浜坂小学校 等

田中 * 水害時：城北小学校2階はあくまでも緊急避難(最大4m 浸水)

* 『一時集合避難』が機能することで、『救われるべき命が救われます』住民同士で「命」を守る初動の行動

因みに、昨年度の「一時集合場所集合訓練」の参加者数は、約1500名でした。

また、同時に実施した避難行動要支援者への「声かけ行動訓練」(災害時要支援者見守りネットワーク)では、一時集合場所への移動が困難な方は、玄関先で顔を合わせて言葉を交わす「玄関先訓練」を実施しました。人数報告は受けていませんが、相当数の方が参加されたと聞いています。



2019年8月20日に発生した「西日本豪雨」では、河川の氾濫や洪水、土砂災害などで多くの被害がありました。

「西日本豪雨」被害状況

- 死者263人行方不明者8人
- 負傷者484人(重傷141人、軽傷343人)
- 住家の全壊6783棟、半壊1万1346棟、一部破損4362棟、床上浸水6982棟、床下浸水2万1637棟 *その他の非住家被害6100棟

水害時には、リード時間がありますから、この時、『声かけ行動』(安否確認・情報共有)が機能していれば、多くの命が助かったという報告が、数多く寄せられています。

“いざ”という時に、この「声かけ行動」が機能して、1人でも多くの身近な住民の命が救われることを願って本年度も実施します。

参考資料として、京都市消防局が作成した地震発生時の「自主防災部長 確認シート」を裏面に添付しています。ご参照ください！！

防災行動シート【地震編】

災害が起こったときは以下の要領で行動を！

地震発災時(普段から確認しておくこと)

- 自分の身の安全の確保
- 火の始末
- 出口の確保

まず、生き残る！怪我をしないこと！

地震発災直後

- 家族の安否確認
- 非常持出袋を持つ
- ガスの元栓を閉める
- 地域の集合場所で必要な物品を持つ
- 電気のブレーカーを切る
- 被害状況の確認
- 必要があれば消火活動, 救助, 救護活動
- 地域の集合場所へ

地域の集合場所に着くまでに *城北地区の場合は、班単位の「一時集合場所」になります。

- 地域の被害状況の確認
- 隣近所, 避難に支援が必要な方に対する避難誘導
- 必要があれば消火活動, 救助, 救護活動

地域の集合場所です実施すること *城北地区の場合は、町内単位の「集合場所」になります。

- 地域住民の安否確認
 - 必要があれば消火活動, 救助, 救護活動(人手不足の場合は避難所へ協力要請)
 - 避難者集計
 - 地域の被害状況の確認, 情報の集約
 - 避難所へ行く住民, 自宅へ戻る住民の把握
- (防災活動へ協力できる人員の把握も合わせて行う)

- 災害対応への参加要請

避難所において

- 自主防災会本部へ地域の被害状況の報告
 - 自主防災会本部の指示を仰いで, 地域住民に指示する
- (協力要請に対する消火活動, 救助, 救護活動等)”
- 自主防災会本部へ避難者集計結果の報告

地域の集合場所

*城北地区の場合は、各町内の集合場所になります。

[]学区 指定避難所

*城北地区の場合は、城北小学校になります。

城北地区の対応も、ほぼ 上記の動きに準じています！！